令和８年度消防吏員被服の納入（新規採用者分）
仕様書

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

総　則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」という。）において調達する令和８年度消防吏員被服の納入（新規採用者分）の仕様について適用する。

１　品名及び数量

（１）制服関係

品　名	数　量	備　考
制服上着（男性用）	９　着	
制服ズボン（男性用）	９　本	
制帽（男性用）	９　個	
制服用ベルト	９　本	無段階調整式
制服用ネクタイ	９　本	（紺）

（２）活動服関係

品　名	数　量	備　考
活動服上着	３６　着	
活動服ズボン	３６　本	
活動服用ベルト	９　本	２ピン式

（３）雨衣及び防寒着関係

品　名	数　量	備　考
雨衣	９　着	上着、ズボン
ブルゾン（消防防寒衣）	９　着	

２　仕様

別紙仕様に合致するもの又は同等以上の性能を有するもの。

３　納入期限

令和９年３月１９日

４　試作品の提出

落札者は、１０日以内に試作見本を提出し、消防局総務課係員の検査を受けること。ただし、消防局長が認める場合には、試作品の提出を行わないことができるものとする。

5　採寸

採寸については、サイズ表による試着ゲージにより、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定するものとする。

ただし、袖丈、ズボンの股下寸法については、サイズ表に示した基準にこだわらず、各人の体型に合わせて仕上げるものとする。

6　検査

検査は、外観検査及び分解検査とし、その経費は一切納入者の負担とすること。

7　納品

製品の納入に際しては、１着ごとにプレスした後ビニール袋により包装のうえ、氏名、サイズが容易に確認できるとともに、**職員ごと紙袋等に一括にまとめて収納し、所属ごとに分けて納品すること。**

8　納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補正し、又は取替えるものとする。

9　注意事項

（１）　製作に要する費用は、当初の契約額のとおりとする。

（２）　使用素材は、すべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は、糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。

（３）　縫製について、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

（４）　仕様書の内容を納入者の解釈により勝手に変更してはならない。

（５）　この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

1　制 服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．品名、品番

＜上衣＞

［男性用］（株）イマジョー製　TX126-N

［女性用］（株）イマジョー製　TX1020

＜ズボン＞

［男性用］（株）イマジョー製　TX127AJ-1

［女性用］（株）イマジョー製　TX1022

＜スカート＞　（株）イマジョー製　TX1021CS

２．その他追加仕様

＜上衣＞ 男女共通

ア．ステッチ入りとする。

イ．階級章台は 2.5cm×4cm の面ファスナー＜ループ面＞を縫い付ける。

ウ．左下衿にフラワーホール＜ネムリ穴＞を施す。

エ．士長は銀蛇腹線、司令補は金蛇腹線、司令以上は金蛇腹線の下部に階級毎の消防章を付ける。

＜ズボン＞男女共通

ア．ワンタックとする。

イ．裾仕上げは靴擦れ付きとしすくい縫いにて仕上げる。

３．サイズ表（単位：cm）

＜上衣＞

サイズ	胸囲	着丈	肩巾	袖丈
A2	98	69	45	55
A3	103	71	46	56
A4	107	74	47	58
A5	112	76	48	60
A6	117	78	50	62
B2	110	70	47	55
B3	115	72	49	56
B4	120	75	50	58
B5	125	78	51	60
AB4	112	73	47	57

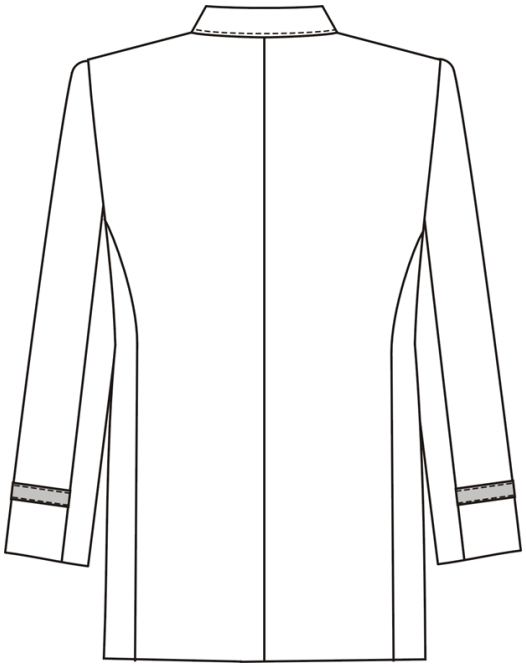
＜ズボン＞

サイズ	ウェスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

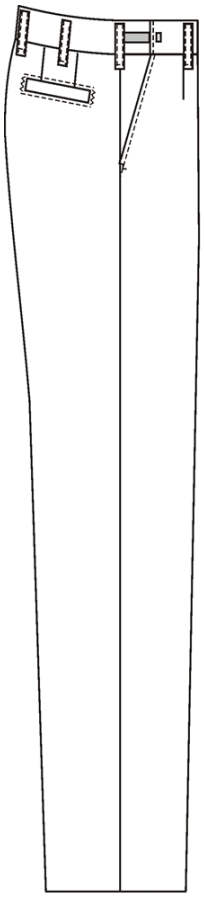
＜参考図＞

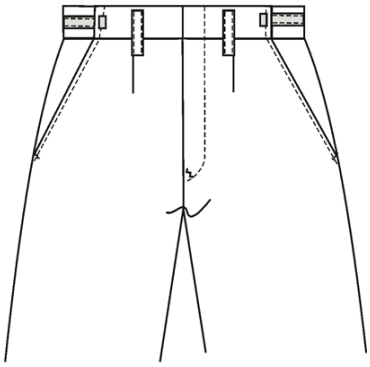
［制服上衣（男性用）］

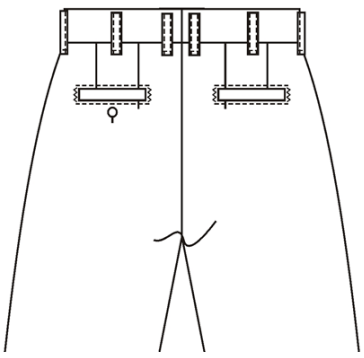




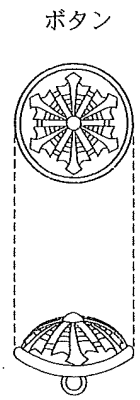
［制服ズボン（男性用）］





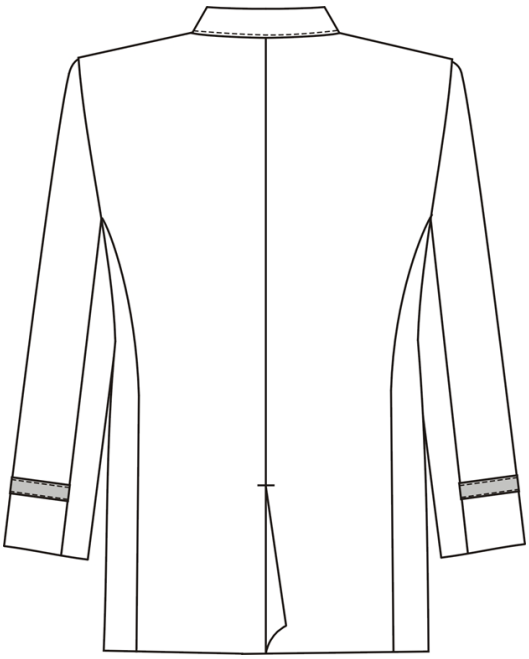


［ボタン（共通）］

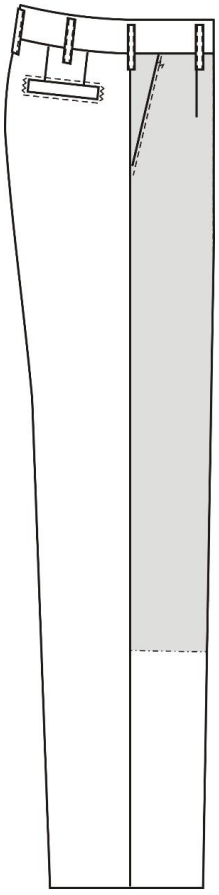


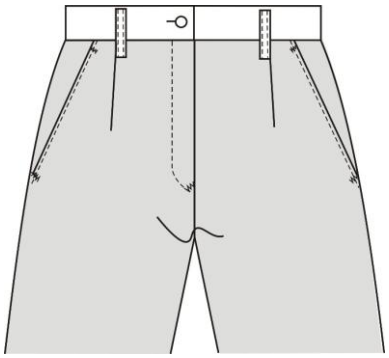
［制服上衣（女性用）］

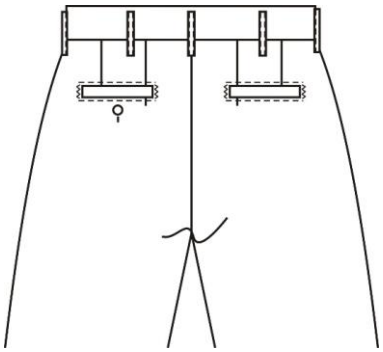




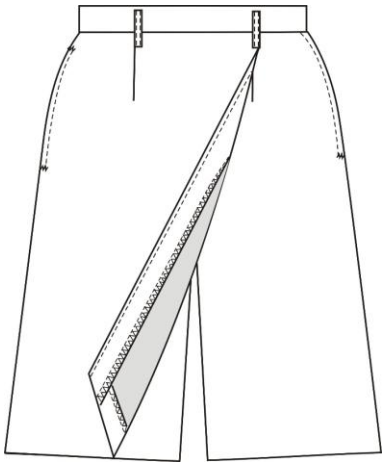
［制服ズボン（女性用）］







［制服スカート］



2　制　帽

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

冬制帽

（１）　材　料

(男性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	①表・・・・ビニールレザー、黒色 ②裏・・・・再生革、シボ付き、黒色
あごひも	黒色の合成皮革製、幅１２ｍｍ
びん革	デラ・クール使用、幅４ｃｍ、片折り玉縁飾りミシン縫いとする。
前立ばね	幅３ｃｍポリエチレン板に、ら線状バネを縫い付ける。
帽章	黒ラシャ生地の８枚葉金モール刺繍で、金属消防章（銀色）を抱擁する。
耳釦	真鋳製、金色
天張り	硬質ビニールに＃１９番銅線を２本入れる。
ハト目	黒色のもの
腰枠	ポリエチレン板、幅５ｃｍ、厚さ幅１．５ｍｍ
周章	消防吏員服制基準のとおりとする。

(女性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	円形つば型
腰部	表生地使用
帽章	黒ラシャ生地の８枚葉金モール刺繍で、金属消防章（銀色）を抱擁する。
周章	消防吏員服制基準のとおりとする。
型式	ハイバック型

（２）縫　製

(男性用)

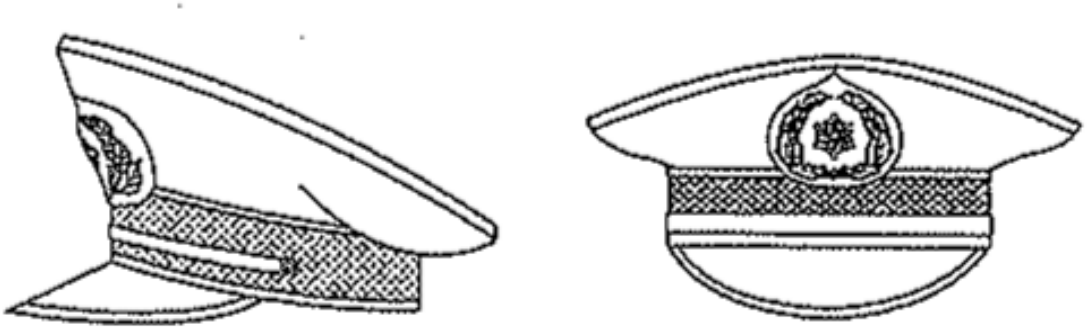
天井栴え	表生地を楕円形に裁ち、裏生地も楕円形に裁ち、ネーム入れの付いたビニールフィルム（汗止め用）と縫い合わせる。
襠縫	①表生地を前襠２枚、後襠２枚に裁ち、各先端を後片倒し縫いで止め、輪状とする。 ②各縫い代は５ｍｍ以上とする。 ③片方に２個ずつのハト目穴を施す。
腰栴	腰の両端を片倒して縫い合わせ、輪状とし、下端玉縁をつくる。
天まとめ	①天井布と襠布との各先端とを縫い合わせる。 ②縫い合わせた上をバイアスで包み縫いをする。 ③次に腰の上端と襠の下端を縫い合わせバイアスで包み縫いをする。 ④各縫い代は、５ｍｍ以上とする。
腰枠栴え	①ポリエチレン板で各サイズに合せ、両端を合わせ輪状に止める。 ②腰中央部（全面）に前立用バネを固定する。
仕上げ	①腰枠を腰布内部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシンにて縫製する。 ②全面中央に庇を付け、内側にびん革を縫い付け、後部重ね目はハトで止める。 ③黒色斜子べり、金蛇腹等により周章を縫い付ける。 ④前面中央部に前章を縫い付ける。 ⑤あごひもを耳釦で止め裏側に通して耳釦の割足を内部へ折り返す。 ⑥びん革を内側へ折り返し仕上げる。 ⑦厚紙の仮枠を入れる。

(女性用)

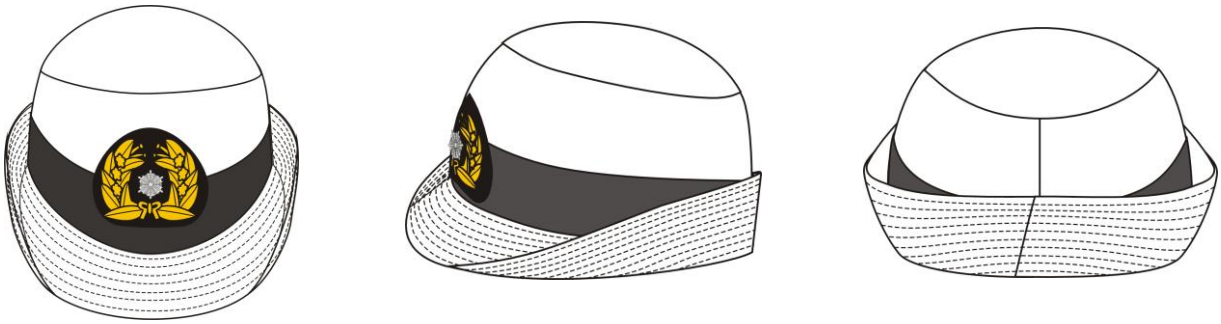
天井部	天井分にサイズ・氏名を明記できる名札入れを設ける。
外周部	消防吏員服制基準のとおりとする。

＜参考図＞

［制帽（男性用）］



[制帽（女性用）]

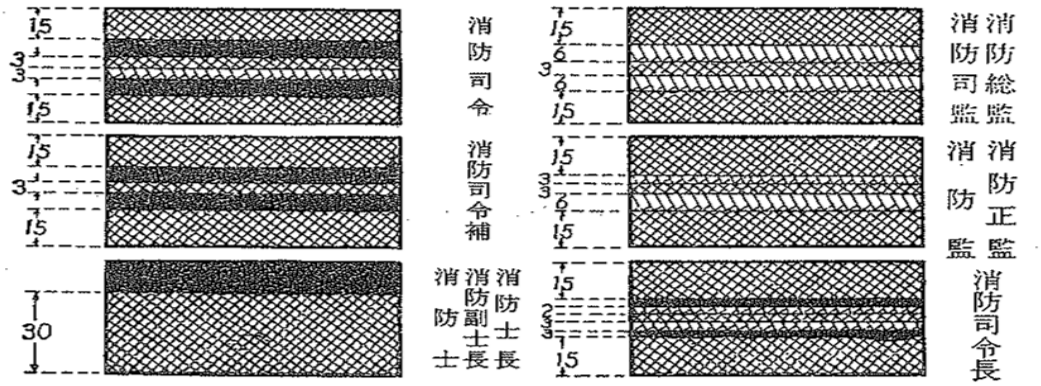


[き章・周章]

き　　章



周　　章



3　ネクタイ

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

ネクタイ（制服用）

区　分	規 格 等
製　式	裏付棒ネクタイとする。
裁　断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形　状	（１）長さ　　143cm （２）前先巾　　9cm （３）後先巾　　4cm
素　材	ポリエステル 100%
色	紺地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

<参考図>



４　ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．品番／品名

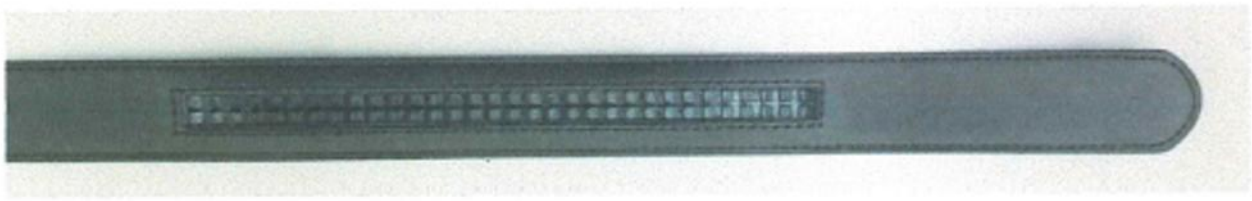
品番	ＴＢ８２６４
品名	消防用無段階調整ベルト（牛革製）

２．材料

帯表素材	牛革１００％
帯裏素材	牛革１００％
バックル	合金製ガンメタリックメッキ加工　中金色の消防徽章
アジャスター	プラスチック製　１８０mm　５mm間隔ロック式
サイズ	帯巾３０mm　革厚４mm

３．参考写真





5　活動服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．品名、品番

＜上衣＞　（株）イマジョー製　TX9280

＜ズボン＞　（株）イマジョー製　TX9281SP

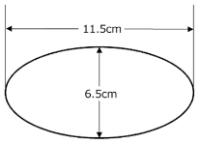
２．その他追加仕様

＜上衣＞

ア．左胸雨蓋上部に楷書体、金茶色で上段に西部消防局、下段に個人名(姓のみ)を刺繍する。

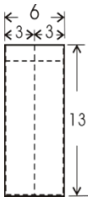
イ．右袖肩付けより 8cm 下に指定型のワッペン台座＜面ファスナー／ループ面＞を縫い付ける。

＜右図＞



ウ．左袖肩付けより 8cm 下に長さ 13cm、幅 6cm の２本入りペン差し取り付ける。

＜右図＞



エ．背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビー及び縁取りホワイトにて圧着プリントする。

・フォント：メイリオ　・サイズ：W３８0mm×H６６mm　・カラー：ホワイトフチ×ブルー　反射材

鳥取県西部消防局
TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

＜ズボン＞

裾仕上げは靴擦れ付きとしミシンタタキ縫いにて仕上げる。

３．階級章台　胸部右のポケットブタ付根上部中央部 1cm の位置にタテ 2.5cm、ヨコ 4.0cm の上着と同色のマジックにて四方を縫い付けること。

４．形式

区　分	形　　式
上　衣	立体裁断及び立体縫製、スタンドカラーフルジップ式、衿トリミング入り、両胸ファスナー式アウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、背ヨーク切り替え、背中切り替え蓄光パイピング挟み込み、両肩部切り替え蓄光パイピング挟み込み、階級章台付き、裾シャツ型、背プリント入り、左胸刺繍、左袖ペン差し付き、右袖ワッペン台座付き
ズボン	立体裁断及び立体縫製、ワンタック、左右脇ポケット、左右両退部ファスナー式切ポケット、左上

	前ファスナー開き前カン止め、ベルトループ７本（両脇ツインループ）、左右尻ポケット

５．材料 ※同等品以上可

区 分	形 式
主生地	ア 素 材：日本毛織株式会社 難燃ストレッチリップストップ ＦＢＲ７８５ イ 混紡率：メタ系アラミド ５６％ 難燃レーヨン ２６％ ポリエステル １５.５％ ポリウレタン ２.５％ 導電性繊維混入 ウ 色 相：紺色 エ 性 能：難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌
副生地	ア 素 材：日本毛織株式会社 難燃ストレッチリップストップ FBR785 イ 混紡率：メタ系アラミド ５６％ 難燃レーヨン ２６％ ポリエステル １５.５％ ポリウレタン ２.５％ 導電性繊維混入 ウ 色 相：オレンジ色 エ 性 能：難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌

６．資材

品名	規格	使用箇所
芯地	接着芯地	衿、カフス、見返し、玉縁、ポケット口
ファスナー YKK 製	・樹脂製（裏使い） ５８cm～６６cm １３cm １７cm ・金属製／３ＹＧ １６cm～２２cm	 上衣前合わせ ※サイズにより変更 胸ポケット 袖口、カーゴポケット ズボン前合わせ ※サイズにより変更
面ファスナー ＜B面／ループ＞	２.５cm×４cm	階級章台
蓄光パイピング	ＬＦＵＣ１２００	肩切り替え、背ヨーク切り替え、
前カン	金属	ズボン帯前合わせ中心
腰裏 滑り止め付	７cm 上がり	ズボン腰裏

７．縫製条件

針数	３cm 間で地縫いは１２針以上、飾り縫いは１２針以上、オーバーロックは８針以上とする。
穴かがり	ネムリ穴とする。
ボタン付け	機械付け、又は手付けとする。手付けは２本の糸を１個の穴に３～４回通し根巻きは３回以上とする。
裁縫	糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテトロン糸を

	使用し、糸始末は丁寧に行うこと。
デザイン	立体構造のものとする。
サイズ	体形に合わせてＡ体はスリムに、Ｂ体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

８．縫製要領

（１）上衣

衿	スタンドカラータイプとし、ファスナーは衿先までとする。表裏衿端に副生地で 12mm 幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。衿巾は中央で８cm、衿先は巾６cm とし、裏衿腰部分にステッチを６本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチを９本かける。衿裏にステッチを７本かけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。
前合わせ	突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。 ファスナーは、見返しと挟み縫いしダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閂止めをする。
胸ヨーク	左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。
肩章	副生地を使用し、巾は５cm（剣先側４cm）先三角形型とし周囲にステッチをかける。肩側は袖付け根に挟み、袖側より４cm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は縫い止めとする。
胸ポケット	幅１６cm、高さ１６.５cm の両玉縁ファスナー付きアウトポケットとし、上辺は胸ヨーク切り替えに挟み付けし、周囲はステッチで縫い付ける。 ファスナーは閉じて脇側とし、ポケット口の周囲にステッチをかけ両端は閂止めをする。 左ポケット内側に幅２.５cm のペン差し口を設ける。 左胸ポケット内の脇側に４cm× ５cm のペン差し用ループ(２本用)を付けること。
階級台	右胸上部に２.５cm× ４cm の面ファスナーを取り付ける。
背ヨーク （蓄光パイピング入り）	副生地を使用した１枚仕立てＶヨークとする。背ヨーク、肩章付け辺り位置で切り替え、蓄光パイピングを挟み縫いし、ヨーク側にステッチをかける。大きさは中心で２１cm（サイズにより変動）とする。
脇身頃 （ベンチレーション式）	脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールは袖下布を上に脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせ、前後身頃側にステッチをかける。
袖	２枚袖としカフス幅６cm とする。袖口に２本タックを取り、ファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナーとし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。 立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。 カフス裏は副生地を使用する。
ペン差し	左袖付より８cm 下に位置に横６cm（３ｃｍ×２本）、深さ１３cm のペン差しを付ける。
後身頃	後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

裾	シャツ型とし、三つ折り始末とする。
片布・品質表示	胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。
衿吊り・サイズ表示	衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。
背中プリント	背ヨーク中央に反射材にて指定デザインをプリントする。＊詳細は協議の上決定する。
左胸刺繍	左胸ポケット上部に『西部消防局』、個人名(姓のみ)『〇〇』と刺繍を入れる。刺繍糸色は金茶色とする。
右袖ワッペン台座	右袖８cm 下に指定ワッペン台座を取り付ける。

（２）ズボン

前タック	左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。
前立て	前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返し、見返し裁ち目はオーバーロックをかける。 上前側は、３.５cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、閂止めをする。上前裏にファスナーを２条縫いで縫い付け、下前側はファスナーを挟み縫いする。
脇ポケット	左右の両脇に斜め切り替えポケットを付ける。ポケット口の長さ１５cm とし、口の上下端に閂止めをし、口にはステッチをかける。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。
カーゴポケット	左右の両脇に上端から２９cm の位置に片玉縁付きファスナー付き切ポケットを設ける。 ポケットの幅は１６cm、深さ２０cm としファスナーは閉じて後ろ側とする。 向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。
後	左右のウエストに各１本のダーツを取り、内側に片倒しをする。 後中心の尻縫いは片倒し縫い、裁ち目はオーバーロックをかける。 脇線とポケット辺りで切り替え、ウエストベルト付け下から裾まで脇側にステッチをかける。 後身を切り替えた中心側の太腿辺りを斜めに切り替え、裾側へステッチをかける。 ダーツ、後身、内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。
後ポケット	玉縁幅１cm、口の長さ１４cm の片玉縁ポケットを左右に付ける。 ポケット口の周囲はステッチをかけ、両端は閂止めをする。 向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。
ウエスマン（腰帯）	幅４cm とし芯を貼り腰裏にマーベルトを取り付ける。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ウエスマン前中心は前立てステッチ幅に合わせてステッチをかけておく。 ファスナー上の腰帯幅中央に前かんを付ける。
ベルトループ（７本）	ベルト通しは幅２cm、通し巾５.5cm のループを前タック位置、脇、後ダーツ位置に６本縫い付け、後中心にはループ幅８㎝、両端６㎝、中心部の長さ 7.5 ㎝のホー

	ムベース形とし、ループの両端はコバステッチをかける。 左右脇側は幅２cm、上段通し巾５.5cm、下段通し巾３cm とのツインループとし 下端にステッチをかけ下段ループの上下に閂止めをする。
シック	下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。
裾	裾はオーバーロック始末し、すくい縫いとする。
脇縫い	後へ片倒しとし、ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。
内股縫い	縫い割りし、裁ち目はオーバーロック始末とする。
サイズ表示・品質表示	片布下端に挟む。
片布	ポケット袋布に縫着する。
警告ラベル	ポケット袋布に縫着する。

９．サイズ表（単位：cm）

＜上衣＞

部位／サイズ	着　丈	肩　幅	胸　囲	袖 丈	首回り
ＷＳ	７２	４１	９２	５０	３６
ＡＳＳ	７２.５	４３	９６	５１	３８
ＡＳ	７３	４４	１００	７８	３８
ＡＭ	７５	４６	１０５	５５	３９
ＡＬ	７７	４８	１１０	５７	４０
ＡＬＬ	７９	５０	１１５	５９	４２
Ａ３Ｌ	８１	５２	１２０	６１	４４
ＢＳ	７３	４８	１１０	５１	４３
ＢＭ	７５	５０	１１５	５３	４５
ＢＬ	７７	５２	１２０	５５	４７
ＢＬＬ	７９	５４	１２５	５７	４９
Ｂ３Ｌ	８１	５６	１３０	５９	５１

＜ズボン＞

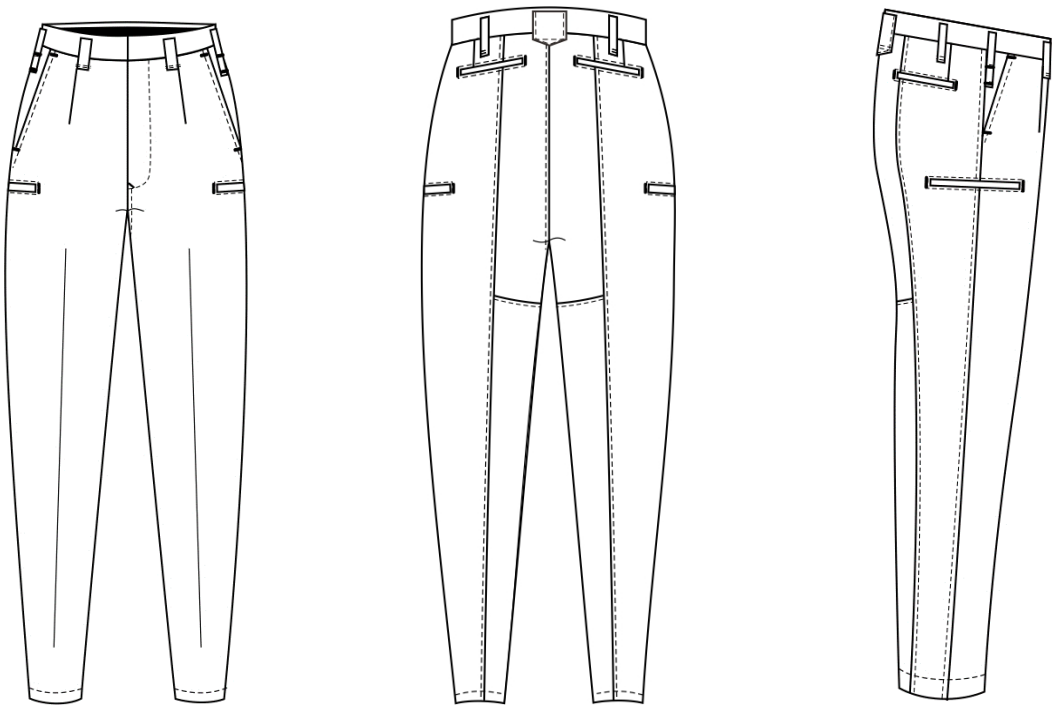
部位／サイズ	ウェスト	ヒップ	股下
Ｗ６１	６１	９３	採寸により決定する
Ｗ６４	６４	９５	
Ｗ６７	６７	９７	
Ａ１	７０	９８	
Ａ２	７３	１００	
Ａ３	７６	１０３	
Ａ４	７９	１０６	
Ａ５	８２	１０８	
Ａ６	８５	１１１	
Ａ７	８８	１１４	
Ｂ００	８２	１１０	
Ｂ０	８５	１１３	
Ｂ１	８８	１１６	
Ｂ２	９１	１１９	
Ｂ３	９５	１２２	
Ｂ４	１００	１２５	
Ｂ５	１０５	１２８	
Ｂ６	１１０	１３２	

１０．参考図

＜上衣＞



＜ズボン＞



６　活動服用ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

区　分	要　　領
制式	ナイロン製２穴止め、金具は金属製とする。（２本ピン止め、はと目穴５個、取外し式バックル、幅 38mm、長さ 120cm）
色	紺色・活動服の色調に準じたもの。

7 雨 衣

仕様については、消防吏員服制基準（昭和 42 年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．材　料

区　分			仕　　様（規格）
主材料	表地（防水布） （別紙） 指定色：オレンジ	上衣	前身ごろ、後身ごろ、えり、フード、見返し、前立て
		ズボン	身頃左右、裾水除け布
	袋布ナイロン 100%	収納袋	円筒型
副材料	反射テープ		30mm 幅　上衣すそ１本　袖口（片袖２本）４本　ズボンすそ（片すそ１本）２本
	ドット釦（艶消し） プラスチック製		径　12mm　　前立て６組、えり回り３組、右胸フラップのみ１／２組、ズボンフロント１組
	ＹＫＫ　５ＶＳ　ＯＰ　ファスナー		前打ち合せ１本 S-60　M-62　L-64　LL-66　3L-68　4L-68 (cm)
	ＹＫＫ　３Ｃ　止め　ファスナー		左胸ポケット１本　16cm、ズボンフロント１本　22cm
	平ゴム		30mm幅　ズボンウエスト
	平ゴム		25mm幅　袖口２個
	ゴムスピンドル		径　3mm　長　1000mm　　ﾌｰﾄﾞ１本 径　3mm　長　Ｓ－120　Ｍ－124　Ｌ－128　ＬＬ－132　3Ｌ－136　4Ｌ－140(cm)　上衣すそ１本 径　3mm　長　Ｓ－68　Ｍ－71　Ｌ－75　ＬＬ－78　3Ｌ－81　4Ｌ－84(cm)　ズボンウエスト１本
	ナイロンスピンドル		径　3mm　長 850mm　収納袋１本
	鳩目　プラスチック製		穴内径 4.5mm　フード４個　上衣すそ４個　ズボンウエスト４個
	ストッパー　KAM ＃ＨＬ080		フード２個　ズボンウエスト１個　収納袋１個
	ストッパー　KAM ＃ＨＬ247		上衣すそ２個
	ストッパー留め　KAM　Ｄ型		フード２個　上衣すそ２個　ズボンウエスト１個
	マジックテープ（Ａ）		20mm 幅　1QN（40mm）＋2QN（100mm）袖口タブ　２組
	マジックテープ（Ｂ）		20mm　幅　1QN（60mm）＋2QN（140ｍｍ）フードアジャスタ１組
	マジックテープ（Ｃ）		20mm　幅　1QN（50mm）＋2QN（50mm）上衣腰ポケットフラップ　２組
	マジックテープ（Ｄ）		30mm 幅　1QN（50mm）＋2QN（150mm）ズボンすそアジャスタ　２組
	マジックテープ（Ｅ）		20mm　幅　1QN（40mm）＋2QN（40mm）ズボン右尻ポケット１組

	ピスネーム	「Ｅｎｔｒａｎｔ ＧⅡ」上衣左腰ポケットフラップ１枚
	品質表示ネーム	上衣、ズボン各１枚
	サイズネーム	上衣、ズボン、収納袋各１枚
	サイズシール	１枚
	メリットタグ	１枚
	ＰＥ袋	１枚
	シームテープ	「αＥ－300」 22mm幅　3 層用シームテープ目止め部
	糸　ポリエステル	本縫い

２．構造の概要

形　　式	縫い目裏防水要所に目張りテープを溶着する。半コート、長ズボンの上下式とする。
上衣 （参考図 参照）	前立部二重（内側ファスナー止め、表部ドット釦止め） フードは立衿式フード収納型とする。 前身頃下部両脇に雨蓋式のポケットを要する。 前身頃上部中央センターフラップ内側にファスナーで開閉するポケットを要する。 袖口はマジックテープで調整できるものとする。
ズボン （参考図 参照）	腰部は幅 30mmのゴムを内装したものとする。 前開き用ファスナー付タイプとする。 右尻部分に雨蓋式のポケットを要する。 すそ部分は広く仕立てられマジックテープで調整できるものとする。

３．印刷

右胸と背中に下記指定デザインを指定色（紺色）反射文字にて、熱転写シート印刷をする。

右胸＜Ｗ１４３mm×Ｈ３８mm＞文字：メイリオ（太文字）※上段と下段、文字の長さを揃えること。背中＜W330mm×Ｈ79mm＞文字：メイリオ（太文字）※上段と下段、文字の長さを揃えること。

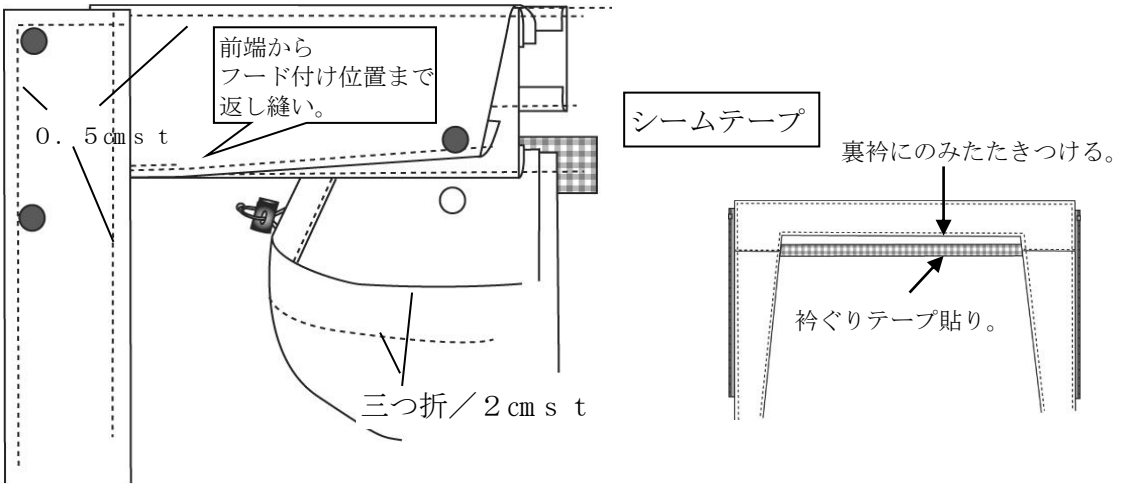
鳥取県西部消防局
TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

４．寸法（単位：ｃｍ）

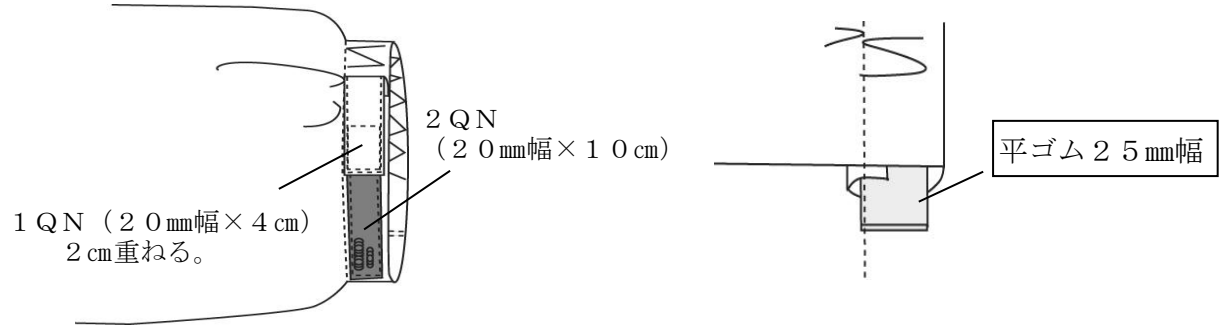
	上衣			ズボン			
	総丈	胸廻り	裄丈	腰廻り	尻廻り	股下	裾幅
S	70	114	82	110	110	71	23
M	72	118	84	113	113	73	24
L	75	122	86	116	116	75	25
LL	78	126	88	119	119	77	26
3L	81	130	90	122	122	79	26
4L	81	134	92	125	125	81	26

５．縫製

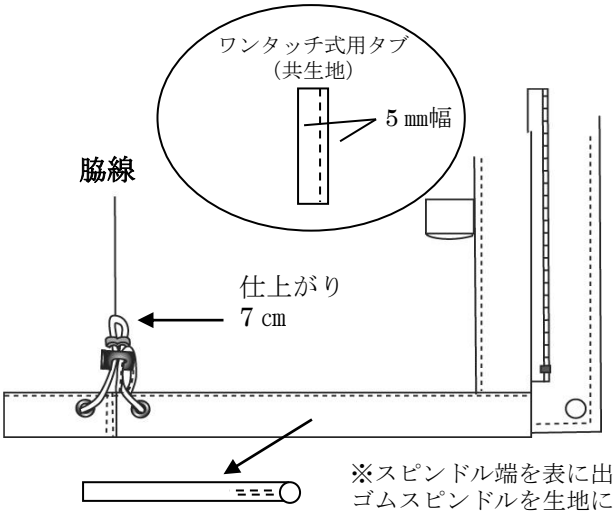
ア 衿



イ 袖口

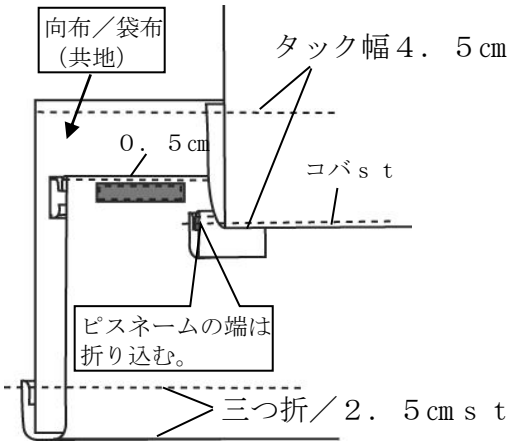


ウ 上衣すそ

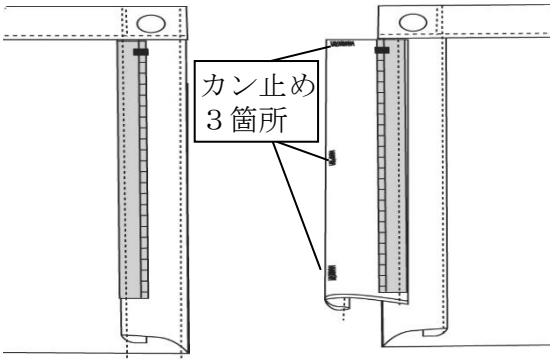


※スピンドル端を表に出ない様に
ゴムスピンドルを生地にたたく。

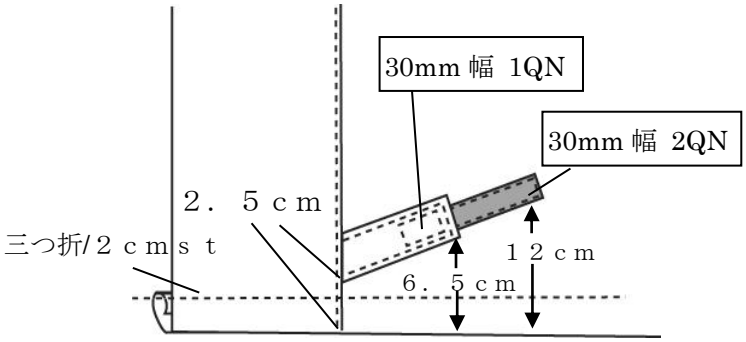
エ ポケット



オ ズボン前開き



カ ズボンすそ



＜別紙＞

生地規格

項　目	規　格	試験方法
品名・品番	東レ・エントラント　＃8200	
原料混紡率	ナイロン 100%タフタ	JIS L 1030
加工方法	キュータス加工	
質量　g／m2	128	JIS L 1096
厚み　mm	0.25	
密度 本／インチ	タテ　106 ヨコ　92	JIS L 1096
引裂強力 gf	タテ　1300 ヨコ　1000	JIS L 1096 ペンジュラム法
耐水度 kpa/cm2	初期　215 洗濯 10 回後　196	JIS L 1092
撥水度	洗濯 10 回後　4 級	JIS L 1092
透湿度 g/m2/24h	10000	JIS L 1092:1998A 法
染色堅牢度	耐光　4 級以上 洗濯　4 級以上 摩擦　4 級以上 汗　4 級以上	JIS L 0842 JIS L 0844A-2 JIS L 0849Ⅱ形 JIS L 0848A 法
色相	提示見本通り	

プリント規格

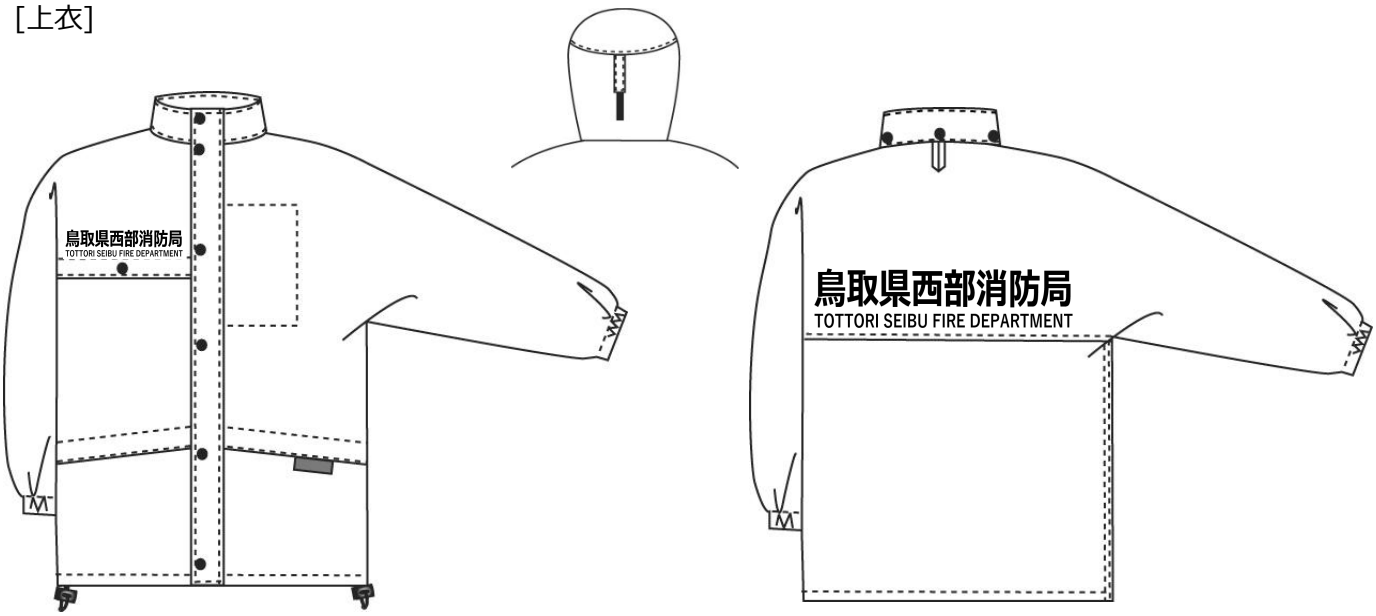
試験項目		規格	試験方法
耐洗濯性	外観	良	JIS L 1930 C4M 法
	変退色	4 級以上	
洗濯堅牢度（級）	変退色	4 級以上	JIS 0844 A-2 号
	汚染	4 級以上	

プリント方法	熱転写シート印刷
プリント色	指定色（紺色）反射
プリント位置・サイズ	前身ごろ右上部 縦 38mm×横 143mm 以内 後身ごろ上部 縦 79mm×横 330mm 以内
転写条件	① 空押し 温度 約 170℃ 圧力　250g／㎠ 時間　約 5 秒

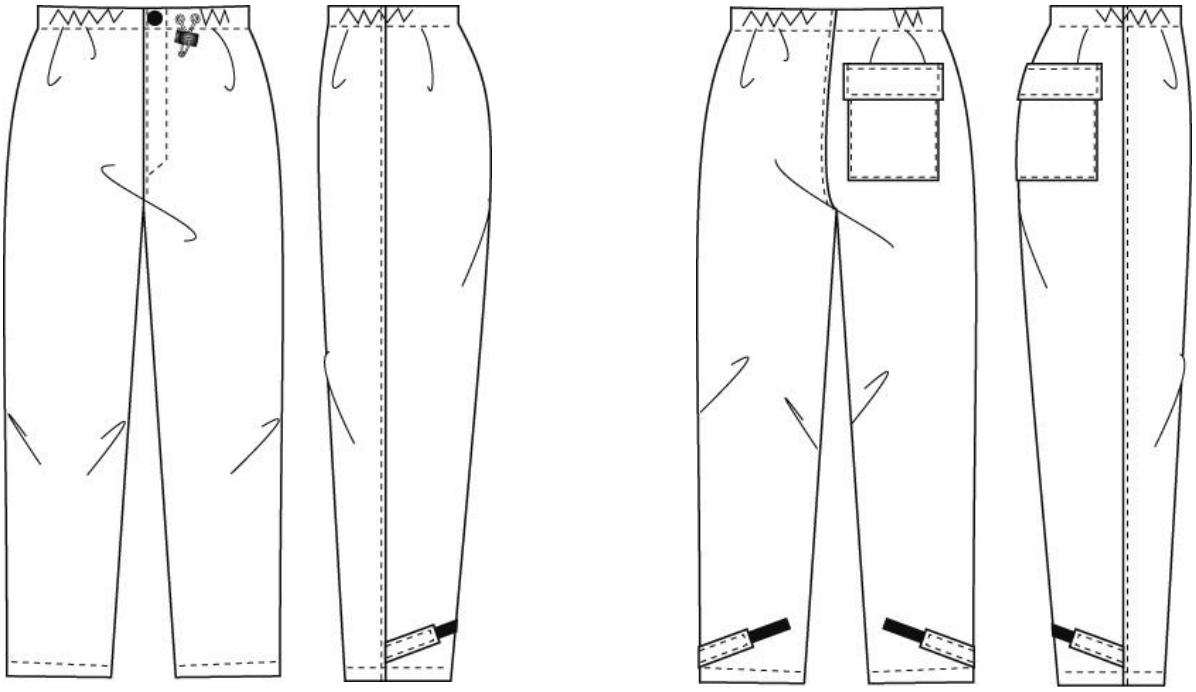
	② 転写 温度　約 170℃ 圧力　250g／㎠ 時間　約 15 秒 ①の条件で、まず生地に対し空押しし、②の条件で転写し、冷却後ペーパーを剥がす。 このペーパーを裏返し、転写面に合わせ②の転写条件で再転写する。
注意	熱転写による生地のしわなど、外観がそこなわれないようにすること。

<参考図>

[上衣]



[ズボン]



8 ブルゾン（消防防寒衣）

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．材　料

区　分	仕　　様（規格）	
表　地	規格	東レ　KU2467 ヘリンボン
	品質	ポリエステル 100%
	色	C/#　K5（濃紺）
	糸番	経 SD75dt／36　緯 B150dt／72
裏　地	T42653　C/#　N-1	
袋　地	裏地を使用すること。	

２．型　式

ジャンバー型、前ファスナー式、ドット釦止め、フード付、裾ゴム入り両腰片玉緑ポケット雨ブタ付（別図のとおり）

３．条　件

区　分	仕　　様（規格）
針　数	3cm 間で地縫は 10 針以上、飾りは 11 針以上、オーバーロックは 8 針以上とすること。
ファスナー・ドット釦・マジックテープ・ゴム	全て良質のものを使用すること。
裁　縫	糸調子は、上下糸とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。 縫糸は、テトロン糸を使用すること。

４．縫製要領

区　分	仕　　様（規格）
衿	①二重衿とし、内衿はスタンドカラーとし、内側はジャージを付ける。 ②外側の衿部裏にフードを収納し、ファスナーで開閉する。 ③衿の付根に指定の衿吊りを縫い込む。
ポケット	①両腰部のポケットは片玉緑とし、雨ブタを付けドット釦で止める。 ②ポケット内部は指定のフリースを付け保温性を高める。
内ポケット	上前身頃裏にファスナー式ポケットを設け、さらに内側に携帯電話入れポケットを設け、仕切りを入れる。
身頃	①前立て内側は、ファスナー式とし、表側はドット釦（8 個）で止める。 ②両肩に肩章を付け、先をドット釦で止める。 ③裾は、ゴム入りとする。
袖	二枚袖とする。
袖口	カフス部は、ゴム入りシャーリングとしマジックテープで調整する。

裏仕用	総裏とし、胴裏・袖裏・ポケット裏に指定のフリースを使用する。
サイズ	衿下中央にはさみ込む。
品質表示	脇部下部にはさみ込む。
片布	上前身返し裏に縫い付ける。
バックプリント	別図指示のとおりホワイト反射（LF-7000）にて反射圧着プリントとすること。文字はメイリオとする。 なお、詳細については、契約後受注者と別途協議とする。
ネーム	左胸指定の位置に、2.5cm×4.0cm のマジックテープ製のネーム台を縫付け、別途黄金色の糸で刺繍した同じ大きさのネームを取り付けること。

[別図]

＜W330mm×H79mm＞

※文字：メイリオ（太文字）

※上段と下段、文字の長さを揃えること。

鳥取県西部消防局
TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

５．裁断及び縫製等

（１）裁断及び縫製仕上げにあたり、洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずること。

（２）針数は地縫い、飾り縫いとも、1cm 間 4 針以上とすること。

（３）ドット釦は、15mm を使用すること。

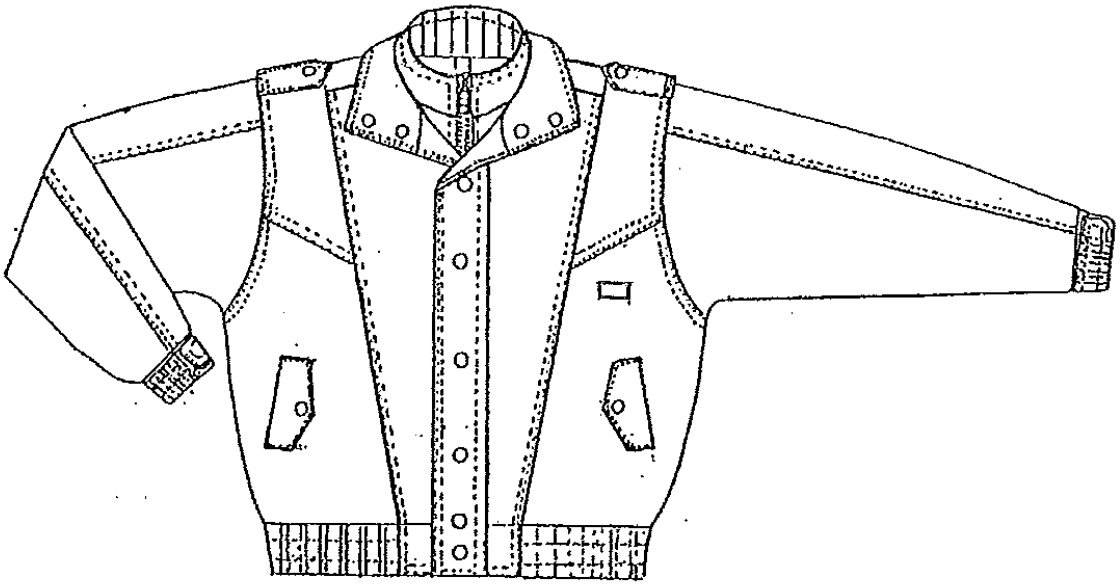
（４）縫い糸は、表縫い糸（テトロン糸 50 番）地縫（テトロン糸 50 番）とすること。

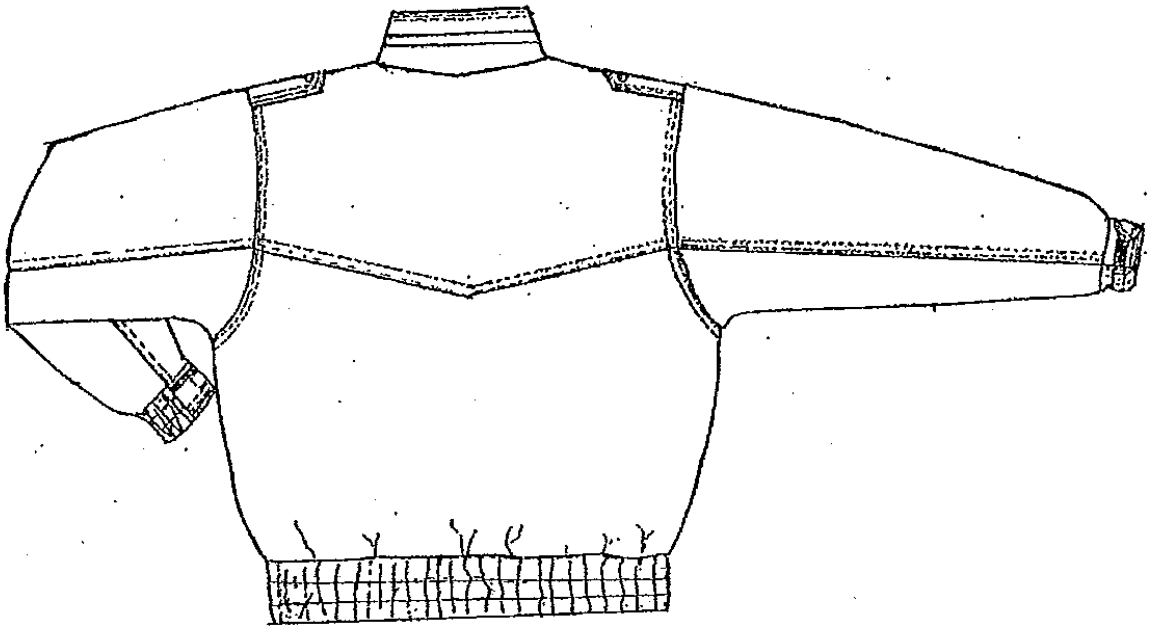
（５）裁断各部とも、逆毛裁、衿以外の箇所の斜裁は、認めない。

（６）仕上げは、糸くずを取り丁寧にプレスすること。

（７）ミシンの調子は、上糸、下糸ともツレ、タルミのないこと。

<参考図>





年　　月　　日

入　　札　　書（第　　回）

鳥取県西部広域行政管理組合管理者　様

鳥取県西部広域行政管理組合財務規則（平成８年鳥取県西部広域行政管理組合規則第３号）第２条において準用する米子市契約規則（平成17年米子市規則第43号）、鳥取県西部広域行政管理組合会計規則（令和３年鳥取県西部広域行政管理組合規則第７号）第２条において準用する米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知の上、次のとおり入札します。

住　　所

商号又は名称

代 表 者 氏 名　　㊞

件　　名	消防吏員被服の納入（新規採用者分）
納　入　場　所	鳥取県西部広域行政管理組合　消防局
入　札　金　額	金　　円

注意

１　入札書は、封書にし、封筒表面に「入札書在中」と表示し、裏面に件名、住所、商号又は名称及び代表者氏名を記載すること。

２　入札金額は、消費税及び地方消費税を含めない金額とし、算用数字を使用してください。なお、入札金額の訂正はできません。

年　　月　　日

辞　　退　　届

鳥取県西部広域行政管理組合管理者　様

住　　所

商号又は名称

代 表 者 氏 名　　㊞

下記の入札物件について、第　　回目の入札を辞退します。

記

1　件　　名　　消防吏員被服の納入（新規採用者分）

2　開 札 日　　年　　月　　日

3　辞 退 理 由

年　　月　　日

入 札 物 品 確 認 書

鳥取県西部広域行政管理組合管理者　様

住　　所

提出者　商号又は名称

代 表 者 氏 名　　㊞

下記の入札物件について、次のとおり確認書を提出します。

記

1　件　　名　　消防吏員被服の納入（新規採用者分）

2　開　札　日　　令和８年１２月１日

3　入 札 物 品

※ 該当する項目の□をチェックしてください。

□ 仕様書に定めるもので入札に参加

□ 仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加（組合の認定が必要）

（仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加する場合の認定結果等）

認定結果は、令和8年11月20日（金）正午までに電話又はファクシミリにより回答いたします。

なお、不適合となった場合は、令和8年11月24日（火）正午までに同等品の再提出を行い、再認定を受けることを認めることとします。

○郵便入札封筒貼付用様式（表面）

※一点鎖線部分を切り取り、**長３封筒**に貼付してご使用ください。

配 達 日
指定郵便

配達指定日

令和８年１１月３０日（月）

入札書在中

〒６８９－３４０３
鳥取県米子市淀江町西原１１２９番地１

鳥取県西部広域行政管理組合
事務局総務課　入札財政担当　　行

○郵便入札封筒貼付用様式（裏面）

《入札書の郵送にあたっての注意事項》

１　当組合が入札案件ごとに定める配達日を必ず郵便局で指定してください。
２　差出日と配達指定日には、あいだ２日間が必要となります。
３　「特定記録郵便」「一般書留」「簡易書留」のいずれかの方法で郵送してください。
４　入札書１件につき、封書１通を使用してください。

入　札　番　号	広消２９
案　　件　　名	消防吏員被服の納入（新規採用者分）
差出人 **住所** **商号又は名称** **代表者の職氏名**	※

※ 必ず記入してください。記入のないものは無効となります。